



富山県

No.71 2014年4月

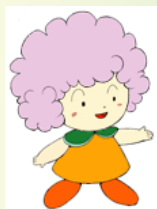
中央植物園だより



第16回私の植物写真展応募作品「初夏」 撮影 / 砂原茂さん

イチハツ (アヤメ科)

中国中央部から南西部に分布するアヤメ科の多年草で、日本へは古く中国から導入されました。大風を防ぐ迷信から藁ぶき屋根に植えられたこともあります。



今年のサクラ 'バイゴジジュズカケザクラ'

富山県中央植物園では毎年「今年のサクラ」を決めて、その種類の紹介や植物画の展示を行っています。2014年は栽培品種 'バイゴジジュズカケザクラ' (梅護寺数珠掛桜) です。新潟県の梅護寺の桜にまつわる親鸞聖人の逸話から名づけられたキクザクラの一品種です。このサクラは園内の東入園口付近で4月下旬に見ごろとなります。また、園内のインフォメーションコーナーでは 'バイゴジジュズカケザクラ' の植物画の絵はがき (4枚1組) も販売しております。



BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

開園 20 周年記念「新春カトレヤ展」レポート

平成 26 年 1 月 4 日（土）・5 日（日）の 2 日間サンライトホールにおいて「新春カトレヤ展」を開催しました。通常新年は 5 日からの開園ですが、今年は 4 日に臨時開園し、開花の最盛期を迎えたカトレヤを富山県内の愛好家の協力により野生種を中心に 117 鉢展示しました。2 日間でおよそ 500 名以上の方が来園し、カトレヤの豪華な花を觀賞すると同時に、ホール内に漂うカトレヤの香りを堪能されたことと思います。



「クリスマスローズ展」レポート

2 月 21 日（金）から 23 日（日）に第 1 回クリスマスローズ展を開催しました。日本では 10 年ほど前からクリスマスローズの人気が高まり、この時期園芸店の店頭でも多数見かけられます。今回は「幻のクリスマスローズ」といわれているヘレボルス・チベタヌスの展示をはじめ、県内のクリスマスローズ生産者の協力により、野生種 5 種、園芸種 60 品種およそ 80 鉢を展示しました。そのほか苗販売、栽培講習会を開催しました。天候にも恵まれ多数の方が来場し、盛大なうちに終了しました。今回好評だったことから、来年の開催も検討中につきご期待ください。



展示会場ではお気に入りの品種の写真を撮影される方が多数見受けられました。



「幻のクリスマスローズ」ヘレボルス・チベタヌスの展示。



ドリアスホールでは栽培講習会も盛況でした（講師：手塚明彦さん）。

植物園トピックス

①キョチクの正月飾り



キョチクの門松の前にて制作に携わった植物園スタッフ。

暮れも押し迫った平成 25 年 12 月 26 日 (木) の休園日に、熱帯雨林植物室に植えられているキョチクを利用して、正月飾りの門松を作成、入園口前に展示しました。

②バオバブの果実



バオバブは同じ木の花粉を受粉させても結実しない性質があり、2013 年 8 月に熱帯果樹室で開花したバオバブの花の花粉を京都府立植物園と交換して受粉させました。富山県では結実しませんでした、京都で結実したもののうちの 1 つが 2 月 19 日に送られてきました。

研究紹介◎『“ハブカズラ”として流通している観葉植物の正体』

栽培展示課主任 高橋一臣

ハブカズラ (*Epipremnum pinnatum*) はモンステラに似た切れ込みのある大型の葉をつけるサトイモ科の植物で、琉球列島のほか、中国南部、熱帯アジア～太平洋諸島に広く分布します。植物園では年末年始に「干支にちなんだ植物展」を開催していますが、2013 年はへび年であったことからハブカズラの鉢植えを購入して展示したところ、同僚の一人から展示品は本物のハブカズラではないと指摘を受けました。

一方、ハブカズラに似た植物で、同様に観葉植物として流通しているものにマンゲークズラと呼ばれる植物があります。台湾から導入されたといわれ、ハブカズラに似て強健であることからマンゲースにちなんで名づけられたようですが、種名は不詳とされています。

これらの植物の正体を明らかにするために、温室に植栽

されている沖縄県産の自生地由来のハブカズラと形態を比較しました。その結果、マンゲークズラには、茎の表面に隆起線がみられ、葉柄の鞘が古くなると繊維状に裂け、葉身の中肋付近に小穴があるなど、ハブカズラと共通する特徴が認められました。一方、購入した“ハブカズラ”はこれらの特徴を欠き、葉をつける節の間に鞘葉をつける節が数個はさまるといふ特徴から、中国南部、インドシナ半島～インド北東部に分布するラフィドフォラ・デクルシウア (*Rhaphidophora decursiva*) と思われる別の植物であることがわかりました。

ラフィドフォラ・デクルシウアには適当な和名がないことから、新称として「ハブカズラモドキ」を提案しました。



写真左：“ハブカズラ”として流通しているラフィドフォラ・デクルシウア 中：マンゲークズラ 右：沖縄県産のハブカズラ

写真で見る植物園の20年 その4

開園20周年を記念して、このコーナーでは20年間の中央植物園の移り変わりを写真で紹介します。



1996年撮影。中国雲南省から導入した石林の石の組み立てが終わり、周辺部の樹木も植えられて間もない状態。



2003年7月撮影。入り口から上の部分や左側の日本の植物ゾーンにはまだ樹木が発達していないところが見られます。



2014年2月撮影。石の周囲の樹木も繁茂し、石の背後の区画も雲南の植物ゾーンとして2003年に整備され、充実してきました。



2013年8月に撮影。上の写真から10年経過し、樹木の未発達だった場所も繁茂し、全体に森らしくなってきました。

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール
企画展には入園料が必要です。

「北陸の菊桜」
3月14日(金)～4月29日(火・祝)

第35回「春のラン展」
5月4日(日)～6日(火・休)

第19回私の植物画展
5月9日(金)～28日(水)

さつき展
5月30日(金)～6月1日(日)
6月6日(金)～6月8日(日)

私の植物写真展
6月13日(金)～7月16日(水)

■特別開園

第3回さくらまつり
4月上・中旬の土日を含む4日間(開花状況により変更することがあります)
特別料金/200円

■講座・講習会

★栽培講習会①
「ランの栽培と管理」
5月5日(月・祝)・6日(火・休)
会場:ドリアスホール(入園料が必要)

★植物写真教室 ◎要申込
「やさしい花の撮り方」
5月11日(日) 13:00～16:00

植物画講習会 ◆要申込
5月24日(土)・25日(日)
※両日とも同じ内容です。
どちらかご希望日をお申し込みください。

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

緑のコンサート
5月3日(土)、6月7日(土)、
7月5日(土)
14:00～15:00

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー
第1,2,4日曜日 13:30～14:00
ー園長と歩く植物園ー
第3日曜日 13:30～14:00
集合場所/サンライトホール

◎要申込 事前の申込が必要です。
申込は1ヶ月前から前日までに「電話」
でお申込ください。

◆要申込 事前の申込が必要です。
申込は1ヶ月前から往復はがき、
FAX、メール (botanic@bgty.org) で
受け付けます。

★印は植物園ボランティアの養成講座です

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日
(4月中とGW、お盆、祝日の場合は開園)
年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 500円
団体料金(20名以上) 400円
高校生以下通年無料
冬期入園料(12月～2月)
大人(一般および大学生) 300円
団体料金(20名以上) 240円
高校生以下通年無料
年間パスポート(購入日より1年間有効) 2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ」経由菟の島循環または「ファボーレ」
経由速星行き(休日のみ)に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市
中心部より車で約15分/北陸自動車道富山イン
ターより車で約15分/JR速星駅より車で約
8分